

## 明神ヶ岳と鶏頂山 山行報告

【山 域】栃木県北部

【参加者】CL 柘植 SL 鈴木憲 澤田路 藺田 小俣(記録)



【行 程】2018/4/16(土) 明神ヶ岳 晴れ

千葉⇒三郷南 IC(外環道～東北道～日光宇都宮道)⇒土沢 IC⇒湯西川水の郷⇒滝沢橋  
(駐車)8:20→金剛ゾネ 11:40→明神ヶ岳山頂 12:50(大休止)13:10→滝沢橋 15:00  
⇒那須の宿(泊)

【内 容】

ゆっくり目の朝発で千葉を出発。湯西川温泉には8時頃到着。林道入り口には通行止めのポールがあるが、置いてあるだけなので外して通過して登山口の滝沢橋に着く。  
2台ほど駐車可能である。8:20登山開始、尾根末端からの登りはいつものように急登である。ガチガチの冬靴で藪の急登はきついものがあります。暑さに耐え兼ね衣類調節、Tシャツ1枚になる。1100mで傾斜が緩くなりホツとする。10:54-11:00小休止、熱中症気味なのか、みんな水分のがぶ飲み。登りの一本調子で「金剛ゾネ」と呼ばれる小ピークに着く11:35-45。木間から明神ヶ岳が向かいに見える。一旦下り、やせ尾根を進む。直下の鞍部で一旦高度を下げ、そして一気の登りで頂上へ。全く雪はなく藪の急登に、2名は冬靴で靴擦れをおこしてしまう悲しい状態。頂上では木陰と涼風を求め小休止12:50-1:10。季節外れの暑さに参ったまま下山、登山口着15:00。

山頂から見た県境に雪は無く、明日の枯木山はひどい藪山と化していることが想像できるため、中止と決定。これからどうする？

Sさんから那須の別荘で泊まることを提案して頂き、ご厚意に甘えることになる。

日塩もみじラインを通り、那須へ抜ける。市内で夕飯の買い出しをして別荘へ、和風の落ち着いた瀟洒な造りのお家に感激！ 近くに温泉施設もあり、一夜の別荘ライフを楽しませて頂く。



滝沢橋の登山口にて



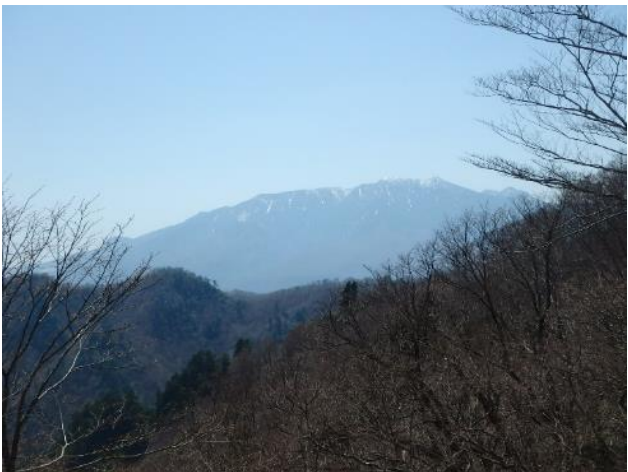
登り尾根の途中（何を見つけたのかな）



明神ヶ岳が姿を現す



金剛ゾネにて



日光連山（女峰山）の眺め



明神ヶ岳の山頂

【行程】 2018/4/17(日) 鶏頂山 晴れ

旧鶏頂山スキー場跡（駐車）8:45→弁天沼 10:00→鶏頂山山頂 10:50(大休止) 11:10→  
駐車場 12:20→今市 IC⇒（日光宇都宮道～東北道経由）千葉

【内容】

前夜、お世話になった那須の別荘から近い那須連峰南端の南月山の登山予定であったが、登山口に続く林道が開通しておらず中止となる。次はどこにということ、今度は塩原温泉近くの鶏頂山を目指すことになる。大鳥居をくぐり 8:30、廃止になったスキー場跡に駐車して入山 8:45。

リフト跡やゲレンデ跡を登る。蕨でもあるかと期待するが、熊笹が茂り残念ながら気配もなしであった。リフトトップ跡 9:30 と思われるところからは駒ヶ岳方面の展望が良く、残雪の山々が望めた。「ああ～雪がある。いいな～」と思ったのは私だけだったでしょうか・・・ 弁天沼にでる 9:54-10:00。神域結界の鳥居をくぐり、朽ちかけた木道を渡り、クマザサの道を行くと右からの広い登山道と合流。落葉松林の登山道を行くとやがて雪が出てくる。今日も雪無しと思って運動靴にしたのは大失敗。できるだけ雪のない所を選んで登るも、ぐしょぐしょになってしまった。釈迦ヶ岳から来る登山道と合流、ひと登りで鶏頂山山頂に着く 10:50-11:05。



旧スキー場のゲレンデ跡を登る



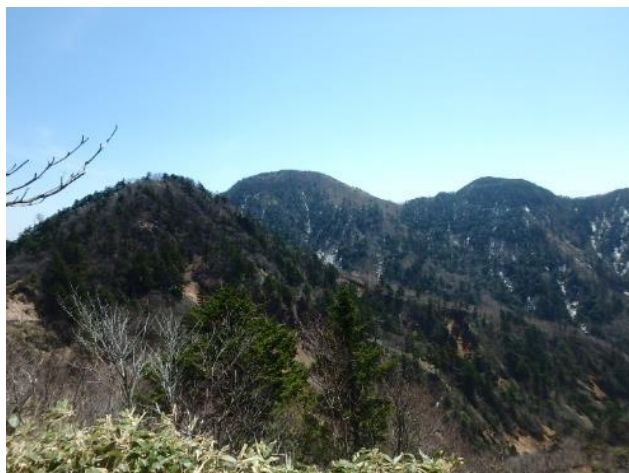
途中の池で見つけたサンショウウオの卵



怪しい木道をたどってメインルートに合流



神域結界の鳥居と背後は鶏頂山



釈迦ヶ岳方面の眺め



鶏頂山の山頂



那須方面の展望



日光方面の展望

山頂には立派なお社がある。お参りして軒下の影で休ませてもらう。今日も暑くてたまらない。釈迦が岳へ周遊して行くという案もあったが、さっさと下山ということになり往路をもどる。駐車場着 12:20。今市に出て、柘植さんお勧めのソバ屋で昼食をとり、道の駅でお土産を物色してから夕刻に帰葉する。

記録：小俣 順子